

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	音楽Ⅱ	2	2年次・D2	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
高校生の音楽2（教育芸術社）		ファイル		1年次で音楽Ⅰを履修していること。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって表している。 ・音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	歌唱	「からたちの花」	4	・作曲者による詳細な演奏上の指示の意図を理解し、歌詞の内容にふさわしい歌い方や個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	1 2 3
		鑑賞				
		器楽	音楽って何だろう（コード） 「Born This Way」	5	・ポピュラー音楽のメロディやリズム、コード進行に注目して、ポピュラー音楽の魅力に深く迫る。	1 2 3
		歌唱	「糸」		・楽器の基礎的な奏法について理解する。	
	2 学 期	鑑賞	西洋音楽（近代・現代） 「春の祭典」	6	・ストラヴィンスキーのバレエ「春の祭典」にみられる新しい音楽表現を理解してその斬新さを味わうとともに、初演時の批評を読んで、当時の人々の反応について考える。	1 2 3
		器楽	アンサンブル 「ばらの花」 「Stand By Me」他	9	・各パートの役割やリズム、旋律の特徴を理解して、表現上の効果を生かして演奏を楽しむ。	1 2 3
		鑑賞	音楽旅行記世界をめぐる	10	・アンサンブルの楽曲について理解する。	
				11	・地域の風土や生活、文化や伝統と、それらが育んだ音楽との関わりを理解し、音楽的視野を広げよう。	1 2 3
				12	・曲を仕上げる。 ・発表を行う。	

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

3 学 期	鑑賞 歌唱	オペラ「椿姫」 アリア「乾杯の歌」	1	・歴史的背景や内容を理解する。 ・オペラ歌手の技量が発揮されるアリア や二重唱を聴いて、そのよさや美しさ を味わう。 ・歌唱法を身に付ける。 ・二重唱に挑戦する。 ・発表を行う。 ・日本音楽の特徴について理解を深め る。	1 2 3
	鑑賞 器楽	日本の伝統音楽 「平家」他	2		1 2 3
			3		
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○曲想と音楽の構造や文化的・歴 史的背景などとの関わり及び 音楽の多様性について理解を 深めているか。 ○創意工夫などを生かした音楽 表現をするために必要な技能 を身に付け、歌唱、器楽、創作 などで表しているか。		○音楽を形づくっている要素や要 素同士の関連を知覚できている か。 ○知覚したこと感受したこととの 関わりについて考え、どのよう に表すかについて表現意図をも ったり、音楽を評価しながらよ さや美しさを深く味わって聴い たりしているか。	○音や音楽、音楽文化と豊かに関 わり主体的・協働的に表現及び 鑑賞の学習活動に取り組もうと しているか。
	手 段	・活動の様子 ・ワークシート ・実技		・活動の様子 ・ワークシート ・実技	・活動の様子 ・ワークシート ・実技
	単元末や学期末及び年次末にお ける評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を 行い評価する。		
	学習上の 留意点	・基本的に教科書を中心に授業を展開するので、内容を確認しておこう。 ・楽器（ピアノ・ギター・和楽器）の基本奏法を身に付けよう。 ・自分から進んで取り組み、自分のできる精一杯を表現してみよう。			